

## 大人の百日咳

大人は乳幼児期のワクチン接種以降、自然感染の機会が減っているため抗体価が下がってきていると考えられます。大人は百日咳にかかっても症状が乏しいために、診断がつきに気ことがあります。それにもかかわらず、家族への感染源となり得るために注意が必要です。「咳が1ヶ月以上長引く」「熱がないのに、しつこい咳が続く」ときは百日咳やマイコプラズマ等を疑って、もう一度診察を受けて適切に対処しましょう。



最初の症状はくしゃみ、咳、鼻水

1～2週間過ぎから激しい咳

咳き込んだ後ヒューと笛を吹くような音を立てて息を吸うのが特徴

乳幼児の百日咳は重篤になるため、生後3ヶ月になったら四種混合ワクチン(DPT-IPV)を接種しましょう。

